

目次

| | |
|-------------------|----|
| ごあいさつ | 2 |
| 平成18年度中間決算概要 | 3 |
| 第12次中期経営計画の進捗について | 5 |
| 地域のベストバンクを目指して | 7 |
| 資料編 | 10 |
| 連結情報 | 11 |
| 単体情報 | 19 |
| 組織図 | 45 |
| 店舗ネットワーク | 46 |

当行のプロフィール

| | | | |
|-----------------|---|--------|--------------------------------|
| 創 | 立 | ／ | 昭和18年3月 |
| 総 | 資 | 産 | ／ 2兆9,283億円 |
| 預 | 金 | ／ | 2兆6,963億円 |
| 貸 | 出 | 金 | ／ 1兆9,616億円 |
| 資 | 本 | 金 | ／ 497億円 |
| 発行済株式総数 | ／ | 普通株式 | 290,855千株 |
| 自己資本比率 | ／ | 11.44% | (国内基準、単体) |
| 行 | 員 | 数 | ／ 1,883人 |
| (平成18年9月30日現在) | | | |
| 店 | 舗 | 数 | ／ 256カ店(有人店舗 115カ店・無人店舗 141カ店) |
| (平成18年10月31日現在) | | | |



ごあいさつ

いつも「アルファバンク」京葉銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

私どもに対する皆様のご理解を一層深めていただけるよう中間ディスクロージャー誌「2006京葉銀行中間レポート」を作成いたしました。当行の経営方針や業務内容、地域社会とのふれあい、新しいサービス・商品などをできるだけ分かりやすくご説明させていただくことを心がけました。ご参考にしていただければ幸いに存じます。

平成18年度上期の経済金融情勢は、好調な企業業績を受け、設備投資の増加と雇用環境の改善が個人消費の増加へとつながる好循環が見られました。景気回復が鮮明になってきた中、7月には日本銀行がゼロ金利政策の解除に踏みきり「金利のある世界」に戻りました。

このような環境の中、当行では平成17年4月から平成19年3月の2年間に新たな高み(STAGE)へと飛躍する非常に重要な期間と位置付け、

第12次中期経営計画

「 α New STAGE 2007～新たな価値創造への挑戦～」

を推進中です。本計画を達成することにより、経営課題である

「収益力の強化」

「企業再生と地域社会の活性化」

「経営管理力の強化」

「お客様、株主、地域社会からの厚い信頼の獲得と従業員満足度の向上」

を実現してまいります。

これからも、地域のお客様や市場から揺るぎない信頼を得られますよう、役職員一同、全力をあげて努力してまいりますので、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

取締役頭取 綿貫弘一